

## [お客様]

高品質の製品をお客様に提供するとともに、納期・コストの対応についても常にレベルアップを図り、「お客様満足度」のさらなる向上を目指しています。

### 品質保証への取り組み

当社は、国内・海外の環境変化に目を配り、世界トップ水準の品質確保とお客様満足度向上に努めています。また、品質国際標準の認証取得を積極的に推進し、これに則った品質マネジメントシステムを運用しています。

#### 品質方針

世界トップ水準の品質提供により  
お客様満足度向上をグローバルで達成する

#### 重点施策

- ① 監査と教育の充実によりグローバル品質水準を向上
- ② 再発防止活動の徹底と未然防止活動の推進により品質問題を根絶
- ③ 新規立上り／4M変更時の徹底した未然防止検証(DRBFM等)、工程検証、初期流動管理の実施

#### 具体的な取り組み

重点施策については、以下のように進めています。

1. 監査と教育の充実によりグローバル品質水準を向上
  - ① グローバル監査継続と改善要求事項の適切な改善
  - ② 自主監査推進
  - ③ 国内集合教育と出前教育による人材育成
  - ④ ③のグローバル展開試行
2. 再発防止活動の徹底と未然防止活動の推進により品質問題を根絶
  - ① 再発不良にQA-N検証を実施
  - ② ポカヨケ事例集作成と新規ポカヨケ考案支援
  - ③ 工程点検による重要工程※品質管理水準の維持・向上  
※熱処理、溶接、ショットピーニング
  - ④ 未然防止を目的とした過去トラデータベースの構築
3. 新規立上り／4M変更時の徹底した未然防止検証(DRBFM等)、工程検証、初期流動管理の実施
  - ① 未然防止検証及び工程検証、初期流動管理が確実に実施されていることの確認
  - ② (立上り／変更)計画の進捗確認
  - ③ グローバル品質監査で実施状況の確認

### 品質国際標準の認証取得

当社は、1996年に厚木工場、品質の国際標準であるISO9001の認証を取得したのを皮切りに、全工場ISO9000シリーズの

認証を取得しました。また、自動車関連製品を生産する工場については、さらに厳しい標準であるISO/TS16949の認証を取得しています。

国内グループ会社各社でも積極的に認証取得を推進しているほか、海外グループ会社でも、お客様や地域に合わせた品質国際標準の認証取得活動を展開しています。

## ISO/TS16949取得 26工場

### お客様からの評価

当社はお客様の期待に応えられるよう、常に品質・納期・コストなどの改善に取り組んでいます。その成果は、多くのお客様から表彰を受けるなど高い評価を受けています。



多くのお客様から表彰を受ける

### OICE

株式会社本田技術研究所  
四輪R&Dセンター  
第11技術開発室 第3ブロック  
主任研究員  
穂積 豊佳 さん



### 今後もよきパートナーとして

モビリティカンパニーである当社のクルマやバイクをはじめ汎用製品などには、様々な「ばね」が使われています。中でもクルマの足回りに代表されるコイルばねやスタビライザなどの懸架ばねにおいて、当社は長年にわたり、日本国内だけでなく世界各極でのグローバル開発および現地生産で、ニッパツとともに協業してきました。

当社からの様々な要求に、「高い技術」と「速いスピード」で応えてくれたことで、高精度で高品質な製品を世界のお客様に送り出すことに成功しています。

今後は、さらなる軽量化・小型化が求められるため、環境に対する現有技術を革新技術により打破したいと考えています。技術の高度化や複雑化がますます進む中で、ニッパツには、今までにない概念により、新しい価値を創造してほしいと願っています。

今後もお互いよきパートナーとして、お客様の喜びを最大化するために、地球環境にやさしい製品をともに創っていきたくと考えています。

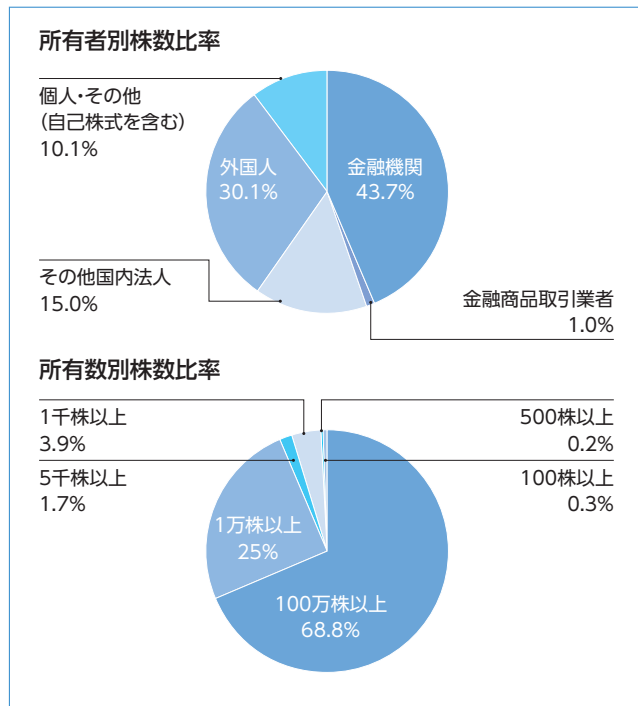
# [株主・投資家]

株主・投資家の皆様に長期的にご支援いただくためには、会社の状況や財務に関する情報のタイムリーな開示が大切であると考え、その実施に努めています。

## 株主への対応と分布比率

株主の皆様からの問い合わせについては、総務部で対応しています。(株主名簿管理人=三菱UFJ信託銀行)  
なお株主の分布状況は、次のグラフのような構成となっています。

### ■株主分布状況(2015年3月31日現在)



## IR情報の発信

株主・投資家の皆様に、当社を一層ご理解いただくため、事業報告書やニッパツレポート(日本語版および英語版)の発行のほか、プレスリリースやホームページで最新情報をお知らせしています。今後さらにホームページの充実を図るなど、迅速かつ充実した情報発信に努めていきます。



**WEB** 投資家情報ページのアドレス  
<http://www.nhkspg.co.jp/ir/>

## 投資家向け情報の開示

当社は、中間決算および本決算発表後、アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を実施しています。2014年度は、5月と11月の2回開催しました。今後も、アナリストや投資家への積極的な情報開示を推進していきます。



決算説明会を開催

## OICE

株式会社QBR  
QUICK企業研究所  
調査部 シニアアナリスト  
小西 慶祐 さん



## 株式市場を驚かせるような成長を

私は、自動車および部品業界の株式アナリストをしています。ニッパツ開示の決算短信、ファクトブック、有価証券報告書に加え、年2回のアナリスト向け説明会に参加し、ニッパツをカバーしています。またIR担当者との個別取材のほか、国内・海外の工場見学を通じ、ニッパツの理解を深めています。

ニッパツを最も評価している点は、独立系でありながら、存在感を示していることです。「ばね」の金属特性を応用した高い生産技術力で、海外にも積極的に進出し、グローバルな生産体制を構築していることがあげられます。また、「ばね」をバネとした成長力の高さも魅力の一つです。自動車メーカー各社からの積極的な受注活動に努め、実績を残しているほか、トップクラスのシェアを維持するHDDサスペンションなど、製品に広がりを見せていることにも成長への期待を感じています。

自動車業界では、グローバルサプライヤーへの期待が年々高まっています。その環境下で、ハンガリー新会社の設立などで欧州での地盤を固め、現地自動車メーカーからも受注を伸ばし、海外自動車部品メーカーと渡り合える存在になってほしいと思います。また、「ばね」技術を核とした思いもよらない新製品を開発して、いち早く製品化し、株式市場を驚かせるような成長を遂げてほしいと期待しています。

最後に、ネーミングライツによるニッパツ三ツ沢球技場は、グラウンドから観客席までの距離が近く臨場感があり、サッカーファンの中では人気の球技場です。この球技場のように、投資家にも長く愛される「ニッパツ」になることを願っています。

# 【従業員】

当社は「人を大切に」という企業風土のもと、従業員を大切な財産と考え、「人財」の雇用と育成に取り組んでいます。多様な価値観をもった各人が個々の持ち味を生かして活躍できる企業であるよう、人財の多様性だけでなく、労働安全衛生、福利厚生などの充実を図っています。

## 人財の雇用と育成

### 雇用における基本的な考え方

当社は「常に新しい考え方で行動で成長する」ことを企業理念の中に掲げ、型にはまらず可能性に挑戦しチームワークで困難を乗り越える、意欲を持った人財を広く求めています。

**求める人財像**

「新しいことにも興味を持って果敢にチャレンジする」

「様々な方向から物事をみる」

「仲間の個性を認め合い、ともにゴールを目指す」

人財の多様性の面では、特例子会社を通じて障害者雇用を一層推進しているほか、女性や外国籍従業員の採用には目標値を定めています。また、中途採用を積極的に活用するなど、多様な人財の確保に努めています。

### 人財育成

当社の人財育成は、持続的成長のために、人財力、組織力の両面から質的向上を目指しています。

例えば、従業員一人ひとりが企業理念を意識し、行動に示すことを目的に、意識と行動の規範を明確に掲げています。これにより、一人ひとりが目指す人財像を具体化でき、年度ごとに能力開発目標を定め育成を実施しています。

各人が受講する研修制度には、階層別や職務・職能別の集合研修のほか、外国語・異文化研修などもあります。また、社外の研修も積極的に活用するほか、海外研修や通信教育などの選択制を充実させ、自ら成長しようとする「個人」を「組織」の力で育成し、それらを「人事制度」でサポートする、三位一体の人財育成に会社全体で取り組んでいます。



人財のレベルアップに向けた様々な研修を実施

### 採用活動

採用活動は、当社独自の会社説明会を開催する一方、学校主催の説明会には人事部の採用担当が積極的に参加しています。会社説明会では、若手従業員にリクルーターとして協力してもらい、学生とのフリートークの場を設け、実際に働いている従業員の生の声を聞いてもらうことにより、当社の企業風土や雰囲気をはじめ、就職後の会社生活をイメージしてもらえるような活動を行っています。

また、就職情報サイトでの情報開示とともに、当社ホームページでは「採用情報ページ」の設置、新卒採用向けの駅貼りポスターなども展開しています。



当社リクルーターを交えての会社説明会を開催



当社ホームページの採用情報ページ リクナビの当社トップページ

## 障害者雇用

ニッパツグループは、障害を持つ人と持たない人が、ともに調和しながら「可能性への挑戦」「社会人としての自立」「社会との共生」を目指しています。

当社は、2002年4月から「企業としての社会的責任と地域社会への貢献」を目的に、障害者を雇用する特例子会社「ニッパツ・ハーモニー」を設立しました。また、2009年3月からはグループ会社であるニッパン（日発販売）、日発運輸の2社を特例子会社のグループ適用会社として、障害者雇用率向上を目指しています。2015年3月末現在、同社は神奈川県と長野県にそれぞれ2カ所ずつ、計4営業所を設け、49名の障害（主に知的障害）を持つ従業員が元気に働いています。2014年度は地域の養護学校や法人から42名を受け入れて実習したほか、様々な企業・学校・行政の関係者など211人の方々が見学に訪れました。



元気に働くニッパツ・ハーモニーの従業員

## 労働安全衛生

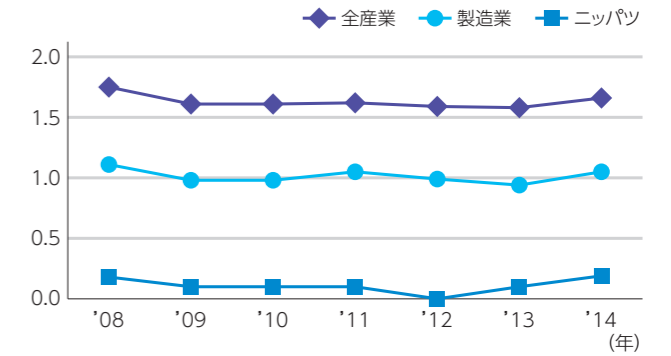
当社は、2000年度から労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）を導入し、2003年度から全社展開しています。「危険ゼロ」を目標に労働災害の撲滅を推進するため、次のような取り組みを行っています。

- **リスクアセスメント:**  
職場の潜在的な危険性または有害性を見つけ出し、これを除去・低減する手法
- **危険予知活動:**  
危険に対する感受性を向上させ、災害の未然防止を図る活動
- **安全衛生教育:**  
危険性または有害性に関する知識を習得し、災害の未然防止を図る教育

労働災害の発生頻度を表す指標となる休業度数率は、近年の活動成果から全産業平均や製造業平均よりも下回っています。今後は、労働安全衛生マネジメントシステムのPDCAサイクルを適切に回し、安全衛生管理のさらなるレベルアップを図っていきます。

$$\text{休業度数率} = \frac{\text{休業災害件数}}{\text{延べ労働時間}} \times 100\text{万時間}$$

## 労働災害による休業度数率推移



## 福利厚生

当社は、従業員の快適な会社生活を支援するため、社会環境に応じた福利厚生の充実に努めています。特に、安全で安心できる働きやすい職場づくりや、従業員同士のコミュニケーションが活発に図れるような取り組みに注力しています。心身の健康管理、余暇の活動、定年後の安定した生活に向けた支援など、総合的な福祉を目指した活動を行っています。



職場ごとのチームで、各地区の代表が一堂に会した全社キックベース大会



職場コミュニケーション費を利用した社員旅行（第三営業部営業一課）



スポーツのクラブは各地で活躍。各種の大会に出場し、好成績を収める滋賀野球部



横浜事業所内を生け花で飾る横浜華道部

# [地域社会]

当社およびグループ会社の拠点は、国内・海外の様々な地域に広がっており、各事業所がそれぞれの地域に根ざした活動を展開しています。そして、地域社会から世界へと共生の輪がさらに広がるよう、グループ総力をあげて取り組んでいます。

## ニッパツの取り組み

### 「ニッパツ三ツ沢球技場」を軸とした活動

2008年から継続している「ニッパツ三ツ沢球技場」のネーミングライツ(施設命名権)は8年目を迎えました。ネーミングライツの特典である無償使用権の有効活用に取り組んでいます。

- ニッパツ・朝日新聞ジュニアサッカー教室の開催  
小学校2～4年生を対象としたジュニアサッカー教室を同球技場で開催しています。毎回150人ほどの子どもたちに、元プロサッカー選手の指導を受ける機会を設けています。テレビなどでもおなじみの元日本代表選手と、親子そろって記念撮影を行うほか、後日、横浜市内の定期購読の家庭にはタブロイド広告新聞が配達され、この活動を地元の皆さんにも紹介しています。
- ニッパツ・理工系大学サッカーリーグの開催  
前途有望な学生の活動を支援するため、サッカーリーグを設立し、この活動を支援しています。学生のニーズに応え、フットサルなども取り入れた多彩かつユニークな活動を繰り広げています。リーグの開幕戦は同球技場で行うほか、この優勝、準優勝チームは、Jリーグの横浜FCの公式戦時に大観衆の前で表彰を行っています。この活動は当社の採用活動にも役立っています。

## ネーミングライツ継続8年目



同球技場ではラグビーの公式戦も開催される

「ニッパツ・朝日新聞ジュニアサッカー教室」。元プロサッカー選手と同じピッチを走り回る子どもたち



大学生の活動を支援する「ニッパツ・理工系大学サッカーリーグ」

### TFTで世界の子どもたちに給食を

2014年2月から、横浜事業所の食堂で「Table For Two」(略称TFT)を導入しました。TFTは、役員・従業員食堂で寄付金付きの食事を食べることにより、アフリカの学校給食への寄付金を届ける仕組みです。2014年度は合計で55,571食分の学校給食を寄付することができました。2015年度は他の事業所への展開を進めています。今後、海外を含めたグループ会社への展開も視野に入れていきます。

TFT寄付金 **55,571** 食分



アフリカの子どものための学校給食に寄付金を届けるTFT活動(写真提供:TABLE FOR TWO)

### インターンシップや工場見学の受け入れ

当社は、就業体験を行うインターンシップや工場見学を受け入れています。インターンシップは、製造現場のほか、開発・設計部門など、年々、体験する業務の幅が広がっています。また2014年度は、公共団体などからの依頼を受け、海外留学生のインターンシップも受け入れました。今後も、学生、生徒たちが実社会に触れる貴重な体験の場として、積極的に依頼に応じていく予定です。



幅広く就業体験を受け入れ

### 地域のイベントなどへの協賛・協力

当社は、事業所のある地域で行われる各種のイベントに協賛、支援や協力を行っています。

- 横浜マラソンでボランティア活動  
2015年3月に開催された「横浜マラソン2015」に、当社とグループ会社の従業員がボランティア参加しました。この大会は、同年から新たにスタートした横浜では初めての市民参加型フルマラソン大会です。当社グループは給水所1カ所を担当し、参加ランナーに声援を送りながら、スポーツドリンクや飲料水を手渡しました。



横浜マラソンでのボランティア活動

このほか、2014年度の主な活動は次のとおりです。

- ・横浜国際仮装行列(ザよこはまパレード)
  - ・横浜スパークリングトワイライト
  - ・横浜トリエンナーレ
  - ・天竜川水系環境ピクニック(伊那、駒ヶ根)
  - ・キッズエンジニア2014
  - ・全日本学生フォーミュラ
  - ・おかあさんコーラス
  - ・金沢まつり(横浜市金沢区)
  - ・障害者福祉施設さわらび作業所の清掃(滋賀)
  - ・釧路こども遊学館(特別展示に協力)
- また、知的障害者を支援するスペシャルオリンピックス日本・神奈川への体育館の貸与や、自動販売機の設置、学習教材への当社製品の写真・資料の提供なども行っています。このほか当社は事業所ごとに、行政や地域の団体と連携を図りながら、様々なイベントなどに参画しています。



ザよこはまパレードに協賛



釧路こども遊学館の依頼を受け、ばねの知識を深めるイベントに協力

## グループ会社の取り組み

当社のグループ会社は、それぞれの地域の状況に合わせた活動を展開しています。

### インターンシップ、スカラシップを積極展開【タイニッパツ】

タイニッパツでは、大学生や高校生のインターンシップのほか、奨学金を贈るスカラシップも積極的に行っています。当社グループの青少年育成に向けた取り組みにより、次世代を担う若者が、大きく成長していくことを願っています。



学生たちに就業体験の場を提供するインターンシップ



前途有望な学生に奨学金を贈るスカラシップ

### 地域に根ざしたイベントを開催【スミハツ】

スミハツは、筑波製造所のある茨城県桜川市を中心に、様々なイベントを行っています。子ども向けのイベントとして、小学生のサッカー大会「スミハツカップ」のほか、中学生の野球大会への協賛などを行っています。また、毎年夏には、従業員や家族のほか、近隣に住んでいる方々を招いて、事業所内でサマーフェスティバルを開催しています。



近隣の子どもたちも大勢参加して盛り上がるサマーフェスティバル

# [サプライヤー]

購入品調達にあたっての基本方針を制定するとともに、自社ガイドラインに基づくグリーン調達を推進しています。

## 調達基本方針

当社は購入品調達にあたって「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正かつオープンな調達」「法規順守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

### 購入品調達の基本方針

#### ●相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築

相互の努力と公正なお取引を通じて、ベストパートナーとしての長期的な信頼関係を構築し、お互いが発展することを目指しています。

#### ●公正かつオープンな調達

当社は、国籍、規模、系列等を問わず、オープンな参加機会を提供し、品質、価格、納期、サービス、技術力、開発力を総合的に勘案してお取引先を選定しています。

#### ●法規順守と機密保持

調達活動においては、関連する法規と社会規範を順守しています。また、お取引先を通じ知りえた機密情報は、ご承諾なしには第三者に開示いたしません。

## ニッパツグループ・パートナーズミーティング

当社は、毎年1回、グループ会社のサプライヤーを含めた取引先の代表を招き「ニッパツグループ・パートナーズミーティング」を開催しています。当社から、年度方針および取り組むべき課題などを説明し、サプライヤー各社に一層のパートナーシップ強化への理解と協力を求めています。

また、購買本部より、当社を取り巻く経営環境と購買方針の基本的な考え方について説明するとともに、技術本部より、品質方針と目標および各生産本部・事業本部の品質への取り組みについて説明し、さらなる品質向上への協力を呼び掛けています。



サプライヤー各社との関係強化に向けて開催するニッパツグループ・パートナーズミーティング

## グリーン調達

当社は、購入品調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境に配慮した企業からの環境負荷の少ない製品の調達に努めています。サプライヤーの皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄に至るすべての段階を通して環境負荷物質の管理を推進するとともに、廃棄物を含めて環境負荷の削減を図っています。

2009年度更新以降、製品環境負荷物質に関する国内・海外法令を見直し、2014年度に3回目の更新を実施しました。



グリーン調達ガイドライン

## OICE

大日本印刷株式会社  
ファインオプトロニクス事業部  
副事業部長

石川 利通 さん



### 今後もよりよい製品の供給を続けます

当社は、ニッパツのHDDサスペンション事業のサプライヤーとして30年近いお付き合いになります。当時は、今のような配線付フレキシャー構造ではなく、ステンレス単層のエッチング微細加工ができるメーカーとして指名をもらいました。その後、ニッパツが大手HDDメーカーへの参入を足がかりに成長路線を図ったことで、当社もこれに追随すべく対応してきました。現在は、サスペンション部材として配線付フレキシャーおよびロードビームが採用されています。

ニッパツの経営方針のキャッチフレーズである「決してあきらめない」や「革新と挑戦を続ける」という言葉は、当社の企業姿勢とも合致し共感を覚えます。開発案件に課題が発生した時など、解決に向けてともに取り組み、人間味あふれる温かな対応にいつも感謝しています。

HDD業界が今後も大容量化と技術革新により多様なニーズが見込まれる中で、ニッパツが業界のリーダーとしてますます躍進することを確信しています。当社も今回、ニッパツから受賞した「ベストパートナー賞」の名に恥じぬよう、今後もよりよい製品の供給を続けていきます。